

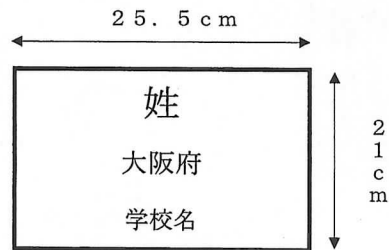
大阪中体連における諸規定

2016. 4. 14

ルールについては、日本卓球ルールを適用しますが、一部下記のように中体連独自の規定を設けます。

1 服 装

- ①シャツ……日本卓球協会（以下、日卓協）公認のユニフォームとする。体操服・Tシャツは認めない。
- ②ショーツ……日卓協公認のショーツが望ましいが、学校体育時に着用を指定されている短パン、ハーフパンツ等でも可。
- ③団体戦で選手が着用するユニフォームは、2種類以内に統一すること。ただし、当日にやむをえない事情ができた場合は審判長の判断に任せる。
- ④対戦する競技者または組が、同じ色のユニフォームを着ていても差し支えない。
- ⑤ゼッケン……背中に右図のとおり、氏名・府県名・学校名を明記したゼッケンをつける。日卓協のゼッケンでもよいが、所属は学校でなければならない。また、紙ゼッケンは認めない。



2 ラケット・接着剤・ボール

- ①ラケット……日卓協公認のものであること。（JTAAのマークが必ず入っていること）
試合前のラケット交換時に、相手ラケットをベンチに持っていくことは出来ない。
- ②接着剤……接着剤は、公認されたものを使用する。大会中にラバーを貼る時は、会場内の定められた場所で貼ること。
- ③ボール……試合球は、公認40mmプラスチック・ホワイト球を使用する。

3 審 判

〔生徒相互によるので、各学校でよく指導しておいてください〕

- ①審判員は、審判をしている試合が終わるまでコートから離れてはならない。また、ゲーム間に自校選手と話をしてもならない。
- ②審判員2名は、主審・副審の区別をせず両者に主審としての権限を与えるので、ゲームごとに得点をコールするものと、得点板を操作するものが交代する。
- ③競技上のトラブルについては、審判員2名の生徒より事情を聞き、審判長（本部役員）が最終判断をする。

4 アドバイス

- ①団体戦においては、当該校の教諭または学校長が認めた外部指導者が、個人戦においては、当該校の教諭または学校長が認めた外部指導者、選手のうち1名がアドバイスできる。
- ②アドバイスはゲーム間とタイムアウト時にしかできない。また、アドバイスの時間は、1分以内とする。